

公表日

令和7年3月15日

事業所名

こぼんはうすさくら 浦生西町教室

保護者等数(児童数) 34名

回収数 30件(割合88%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	1			十分な広さでのびのび活動できている。 個別に関しては粗大運動は身体を動かすのに十分なスペースで、微細運動も集中しやすい個室でよい。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	29			1	集団と個別それぞれに合った人数で対応していて適切と感じる。素敵な先生ばかりでありがたい。個別支援なので、1対1で対応していただき満足している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	1		1	配慮されている。 トイレに段差がある。 トイレに行くとき、戻らずに前に進んで活動する場所に戻れる構造がとても子供たちにわかりやすく良いと思う。	全てがバリアフリーにはできないが、段差のある場所などは職員がついて転倒などがないように対応しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	30				トイレなども清潔に保たれている。 年齢や発達に合わせた空間になっていると感じる。 いつも清潔感があり、空調設備も整っている。	毎日の清掃や、定期的な消毒により、清潔に保てるように心がけております。引き続き清潔感を保って支援していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30				特性、性格をよく見ていただき個々に応じた支援を受けられている。 活動報告により毎回特性に合わせた支援を検討してくださり感謝している。 個別療育を2時間しっかり受けられるのは貴重	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	1		1	合っている。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30				よく子どもを理解しニーズに応じた計画が作成されている。 聞き取りシートの内容を踏まえつつ普段の様子をよく見て計画していると思う。	引き続き、保護者様ともコミュニケーションをとり、支援計画に反映させていきたいと思っています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28			2	適切な支援内容が設定されている。 細かく具体的な内容を設定していただいている。 ごまめに面談をしていただき、子供のレベルに合った内容に設定されている。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29			1	活動に組み込まれている。 そう思う。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29			1	指導する先生が多いため毎回同じ内容でなく工夫された様々な遊びを取り入れて飽きさせないプログラムが実施されている。 同じ目的でもいろいろなアプローチで訓練していただいている。 その日の体調などで変えてくれたりもする。	引き続き家庭では出来ない体験も含め楽しいプログラムを行っていきたくと思っています。
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	15	2	2	11	保育所での行事に参加し交流を持っている。 個別支援中心なので仕方ないと思っている。 通所に加えて幼稚園も通っているの、こぼんを通して他の子どもとの交流はなくても大丈夫だと思う。	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流は現状は難しいですが、地域のイベントに積極的に参加しています。	
保 護 者 へ の 説	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	3			あった。	これからも丁寧な説明を心がけていきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30				面談をしていただき、分かり易くきちんと説明していただけるので安心できる。支援方針、支援目標を一緒に考えてくださって、一人一人に個別に対応している。 契約ご丁寧に説明していただき、こちらの質問にも答えてくれた。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	1	1	6	親子イベントに参加できた。 懇談会や日頃の面談で充分ではありますが、研修会にも興味がある。 研修があるなら参加したい。 個別面談がある。	今後研修会のお知らせをしていきたいと思
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	29	1			できている。支援計画記録で様子がわかるのでありがたい。毎回具体的な活動報告をいただき共有できている。 お迎え時にも教えてもらっている。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	1			できている。面談でもそうですが、送迎時に聞けたりするので感謝している。 子どもの送迎の際に相談しやすい。定期的ではないが、こちらがうかがうと丁寧なアドバイスをいただけ助かっている。 面談では親身になって相談を受けられる。	支援計画の面談以外にもいつでもご相談できるようお願いしています。

明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますが。	29	1		いつも先生方に助けていただいている。 職員の皆様のサポートのおかげで、子供の特 性に向き合うことができていると思う。 皆様我が子のように可愛がって支援してくれ ていると感じる。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の 交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の 交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされてい ますか。	22	5	2	1 親子イベント後の保護者懇談会で家族間の交 流の機会が設けられており普段顔を合わせる ことのない保護者と交流ができ、非常に充実 した時間で良いと思う。 懇談会では、色々な方からの悩み事を聞いて 勇気づけられますし、先生方の助言もすごく 勉強になります。 親子イベントはあるが兄弟向けのイベントは ない。	引き続き、保護者様同士の交流の場を設け ていきたいと思います。兄弟イベントに関 しましては、現状は難しいところもありま すが、検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備され ているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があること について周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に 対応されていますか。	27	1		2 適切である。 相談をした時にアドバイスやその後の様 子を気にしていただきとても感謝してい る。	今後も迅速に返答し、相談のしやすい関係 構築を図っていきたくと思っています
保 護 者 へ の 説 明 等	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされて いると思いますか。	28	1		1 されている。支援計画記録、こぼれ日記よりで 確認ができる。 こちらが伝達した事や聞きたいことを伝えた 時、返答がなく何度も確認することが度々あ る。日頃の様子を連絡帳でやり取りができる ので、子供の前で話しくいことも相談しや すい。	今後は、返答まで時間がかかるときは具体 的な返信日時をお伝えしていきます。 連絡帳やショートメールにてお伝えしてい ただけると記録にも残るのでご協力頂ける よう、伝達方法をお伝えしていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、 連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者 に対して発信されていますか。	29			1 されている。 活動報告を都度いただけ、こぼれ日記よりもあ るのでありがたい。 こぼれ日記を毎月楽しみにしている、自分 の写真が載っていると嬉しそうに教えてくれ る。 ブログをもう少し更新していただくと、こ	ブログは定期的に更新ができていないの で、更新頻度を高めていきたいと思いま す。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26			4 思う。	写真等の取り扱いにも注意していきます。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯 マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知 ・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されて いますか。	24	1		5 緊急時の対応が周知されている。 緊急時マニュアル以外はよくわからない。 参加はしていないが、お便りで確認した。 プリントをいただいた。	お便りを配布いたしますのでご確認ください。 い。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練が行われていますか。	25			5 実施されている。 まだわからない。	実施いたしましたらお便りでお知らせしてい きます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知され る等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思 いますか。	25			5 思う。 まだわからない。	子どもたちの安全が確保できるよう支援し ていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな 連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思 いますか。	24	1		5 今のところ事故はないが、日頃から細や かな配慮がされている。 まだわからない。	事故（怪我）が発生した場合は、状況説 明、連絡を迅速に行っています。その後の 経過も確認をするようにしています。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29			1 早くから安心感を得られたようで安心し つち喜んで行っている。 毎回とても楽しみにしていますし、安心感 を持っている。 朝先生が迎えに来てくれた時喜んで車に乗 り、先生に何かを伝えお話ししている、とっ ても安心している。 子どももすっかり慣れて毎回来している。 先生も多いがどの先生にも懐いている。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	30				引き続き、楽しみに来所し、安心して過ご せる環境を心掛けて支援に携わっていきま す。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30				たいへん満足です。 ありがとうございます。 貴所を利用させていただいてから子供もか なり成長したと実感しています、大変心強 く思っていますので引き続きよろしくお願 いいたします。

公表日

令和7年3月15日

事業所名

こぼんはうすくら 蒲生茜町教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		利用定員が多くなってしまいがちな長期休みの時には、職員の数が少ない場合キャンセルしてもらう時もあるので配慮されていると思う。	少ないと感じることもあるがおおむね適切であると思う。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	普段から危ないところはなにか等々が防止の観点から、職員同士話をしていたりするのよいと思う。	子どもにわかりやすい構造になっているが、バリアフリーにはなっていない。全てがバリアフリーでなくても良いと思う
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		毎日の清掃、消毒、点検をしっかりと行っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	その子によって部屋や場所を変え行っている。	場所がないわけではないが、必ず使用できるとは限らない。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		支援終了後振り返りをその日いた職員で毎回行っている。毎日振り返りをしっかりと行っている。時間を見つけてできていると思う。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		いつでも意見を言える環境を心掛け、速やかに改善できるようにしている。毎日振り返りをしているのでその時に話合せている。	こういった評価は匿名式のほうが良いと思う。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	3	希望する研修には参加できる。動画の共有や資料の閲覧も行っている。	研修を開催する機会が少ないように感じる。研修の時間が少ないので、実施していない。個人に任せられていることが多いように感じる。月一回研修の日を作って行う方法も検討したい。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		年間、月間、1日のプログラムを作成し、月間については通信で公表している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		話し合いが多く設けられている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		カンファの時間の確保、毎日の振り返りの時間の確保をすることで共通理解、検討している。すべての児童で行えているとは言い難いが時間を作り出し共有の場を設けている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		支援計画の目標が、すぐに確認できるようにしている(連絡帳、スケジュールに記載)。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		定期的に評価をし、成長や課題を確認している。	アセスメントを行う職員に限られてしまう事もあるので共有をしっかりとしていきたい。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		外出や調理、感覚遊びなど色々なプログラムを取り入れるようにしている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		集団での課題を個別で強めたり、個別での課題を集団で強めていけると思っている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	3	時間は取れなくても目視で確認できるように丁寧に記載されている。当日が難しい場合は、事前に立案者もしくは伝言で支援内容の申し送りがある。	支援開始前に必ず打ち合わせができていない時もあるので、記録で共有をしっかりと行う

	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		記録を必ず取って、全職員が確認できるようにしている。又すぐに引き継ぎたいことはホワイトボードで目付ところに記載している。振り返りにはしっかり時間をとり、記録もしっかりしているので共有できていると思う。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		日報の他に個人記録を残せるように記録表を用意し細かく記録をとっている。		
	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			「定期的」な話し合いの時間がしっかり取れるようにしたい	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		支援前に打ち合わせをする時間がないため、スケジュールを細かく記載し、各自事前確認をもらっている。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		関係関連機関との連携はよく行われている。情報を集めよう各所に連絡しているように思う。情報共有を定期的に行い、連携して支援を行っている。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		積極的に保育園、幼稚園へ見学に行っている。各所と話し合いや電話連絡は密に取っているように見える。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1			
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		4	研修などの案内をもらった時には、参加させていたideている。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3		5	運動会などに見学に行っている。	地域のイベントに参加することはあるが、幼稚園との交流はない。外出先の公園で交わることがある程度。地域のお祭りに参加したことがある。幼稚園保育園での交流はない。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			何かあればすぐに伝え、状況に応じて相談の面談時間を作るようにしている。送迎時にも伝えている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		4		お便りを渡す、懇談会で話題に出し、研修会の紹介を今後していきたい。見ている範囲では分からない。今後は研修会の案内をしていきたいと思っている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			気軽に話せる環境であると思う。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9			親子イベント終了後に保護者同士で交流できる場を作っている。親子イベントの開催、その際の懇談会開催が行われている。行事ごとになっている。	イベントで保護者同士の交流の場を設けているが、参加してくれる保護者が増えるといいと思う。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			相談があった場合は、電話したり面談をしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			毎月お便りを作成している。	毎月通信を発行しているが、ブログは疎かになってしまいうので気を付けていく
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9				引き続き、充分気を付けていく

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	ハロウィンイベントなどで地域との交流などがある。招待する機会はないが、地域の催し物（お祭りや餅つき）は参加している。	招待するような交流の場は、現状は難しい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2		周知があまりできていないので、こぼれにより周知していければよいと思う。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	前回の反省をふまえ、よりよい訓練になるよう考えられていると感じている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		何かあれば全体へ周知している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1		アレルギーの有無についてはしているが、医師の指示については詳しい所までは把握できていない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2		定期的な訓練に加え、日々の安全管理をしっかりと行い改善点を共有していく
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		災害対策も含め安全計画の見直しをし、ご家族にも周知していきたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	3	身体拘束の必要はないと思っている。	あまり対象者がいないこともあり、話し合いはしていない。